

添付書類で当該経営改善資金計画書記載事項が把握可能である場合には、その旨を記載すれば足りる。

様式第1号の2(第3条関係)

農業近代化資金、  
災害資金、  
経済変動・伝染病等対策資金用  
肥育素牛価格変動対策資金

## 経営改善資金計画書(法人)

- 農業協同組合
- 信用農業協同組合連合会
- 農林中央金庫 支店
- 銀行 店
- 株式会社商工組合中央金庫 支店
- 信用金庫 店
- 信用金庫連合会
- 信用協同組合 店
- 協同組合連合会 店
- 株式会社日本政策金融公庫 支店

御中

(注)1~3並びに4(1)③及び(2)①以外の事項について、この様式に記載されている事項が含まれている別途書類がある場合は、別紙のとおりと記載して、別途書類を添付する等の方法を採用しても差し支えない。(農業経営相談所(農業経営に関する相談を受け付けるもので国の農業経営者サポート事業により設立されたもの)を利用しているものは、1~3並びに4(1)③及び(2)①の事項についても、同様。)

年 月 日

住所

法人名  
代表者

印

1 計画期間 年度～ 年度

### 2 法人の概要

設立年月	年 月	資本金	千円
------	-----	-----	----

構成員氏名	年齢	役職 担当	法人従事 日数	出資 口数	目標年の状況

注 連帯債務者は、氏名に○印を記入

構成戸数	戸	常時雇用	人	臨時雇用	人
------	---	------	---	------	---

### 3 経営規模

田 (うち借地)	a ( a)
畑 (うち借地)	a ( a)
樹園地 (うち借地)	a ( a)
採草放牧地 (うち借地)	a ( a)
施設面積	棟 m <sup>2</sup>
常時飼養家畜	種類 頭、羽

(添付書類)最近3か年の決算書(付属明細書を含む)  
※法人格を有しない団体も本計画書に準ずる。

注1. 1回の借入希望額が3,000万円以下であり、かつ、直近期末の総借入残高(営農負債以外のものも含む既往借入金残高)が直近期(特別の事情がある場合は直近期の前期)の農業粗収入及び農外収入の金額の合計額(借入希望者が法人である場合は総売上高)以下となっている借入希望者にあつては、4の(1)の③および4の(3)は省略することができる。

ただし、今後5年間の間に本資金の借入れを予定している場合の借入れを含む場合は、この限りではない。  
注2. 災害資金、経済変動・伝染病等対策資金及び口蹄疫緊急対策資金(借入希望額が300万円以下に限る)については、注1の省略項目に加え、4の(2)の④についても記入は不要である。

#### 4 経営改善の視点

##### (1) 直近の経営状況はどうなっているのか(経営実績)

(金額単位:千円、その他単位は適宜)

##### ① 経営者の能力、経営力を背景とした生産、損益、資金繰り実績

			直近年( 年)			
売上	共済加入の有無 有・無	経営規模		単収	直近年( 年)	
		生産量		単価		
		売上高		変動理由		
	共済加入の有無 有・無	経営規模		単収		
		生産量		単価		
		売上高		変動理由		
	共済加入の有無 有・無	経営規模		単収		
		生産量		単価		
		売上高		変動理由		
	共済加入の有無 有・無	経営規模		単収		
		生産量		単価		
		売上高		変動理由		
	収入保険の加入の有無 有・無			(注)変動理由は災害、病害等簡潔に記載。		
	その他( )					
	売上原価			→ 期首一期末		
期首商製品棚卸高						
当期商品仕入高						
当期製品製造原価						
材料費			法人の直近年売上高 A 千円			
労務費			農業に係る直近年の売上高 B 千円			
賃借料			B / A %			
その他経費						
(減価償却)						
期末商製品棚卸高						
売上総利益						
販売費・一般管理費						
役員報酬						
その他人件費						
出荷販売経費			→ 出荷手数料、販売促進費等			
減価償却費						
営業利益						
営業外利益						
営業外費用						
支払利息						
経常利益						
税引前当期利益						
法人税等充当額						
税引後当期利益						
償還財源			→ 税引後当期利益+減価償却費+期首商製品棚卸高-期末商製品棚卸高			
償還金(元本)						
差引余剰			→ 償還財源-償還金			
施設・機械等の設備投資						

##### ② 経営力を背景とした財務内容(資産負債バランス)

項目	金額	主な勘定内訳
流動資産		預貯金( )、売掛金( )、受取手形( )、棚卸( )
固定資産		土地( )、建物( )
繰延資産		
資産合計	0	
流動負債		短期借入金( )、買掛金( )、支払手形( )
固定負債		長期借入金( )
資本		資本金( )、法定準備金( )、剰余金( )
保証債務		

参考: 法人の構成員が当該法人に貸与している土地の価格の合計額 \_\_\_\_\_ 千円

③ 経営上の課題はないか

(営農類型: )

項目	状況	特徴、問題・課題点(その改善策)など記入欄
技術レベル	<input type="checkbox"/> 特に問題なし <input type="checkbox"/> 問題・課題あり	
単収	<input type="checkbox"/> 特に問題なし <input type="checkbox"/> 問題・課題あり	
品質・単価	<input type="checkbox"/> 特に問題なし <input type="checkbox"/> 問題・課題あり	
経営規模	<input type="checkbox"/> 特に問題なし <input type="checkbox"/> 問題・課題あり	
コスト	<input type="checkbox"/> 特に問題なし <input type="checkbox"/> 問題・課題あり	
生産方式	<input type="checkbox"/> 特に問題なし <input type="checkbox"/> 問題・課題あり	
販売方法	<input type="checkbox"/> 特に問題なし <input type="checkbox"/> 問題・課題あり	
加工流通	<input type="checkbox"/> 特に問題なし <input type="checkbox"/> 問題・課題あり	
埋却等の準備 (※)	<input type="checkbox"/> 特に問題なし <input type="checkbox"/> 問題・課題あり	
その他	<input type="checkbox"/> 特に問題なし <input type="checkbox"/> 問題・課題あり	

※畜産に含まれる営農類型の場合、飼養衛生管理基準において定められている埋却等の準備ができているか否かなどについて記入してください。

※自然災害や価格動向の変動等(リスク)への備えに関する課題がある場合は、「その他」欄へ記入してください。

(2) 経営の改善を図るための事業内容

① 設備資金の使いみちと資金調達

実施年度	投資内容	規模・能力	数量	主食用米の 生産に供す る農地、施 設、機械に該 当する場合 は○(※)	事業費 【単位:千円】	新設・更新	資金調達計画	
							(自己資金、補助金、借入金等)	(借入金の場合、償還期間)
1						新設・更新		年
2						新設・更新		年
3						新設・更新		年
4						新設・更新		年
5						新設・更新		年
合計								

※目標年度までのすべての設備投資をご記入ください。(自己資金のみによる設備投資を含めてご記入ください。)

投資内容の欄について、農地等を取得する場合は、田、畑などの用途と、自作地・小作地の別をご記入ください。

※農業経営基盤強化資金利子助成金等交付事業(金利負担軽減特例分)の適用を希望する場合は、記載すること。

② 運転資金などの主な使いみちと資金調達(研修、調査、研究開発費として必要な資金も本欄にご記入ください。)

運転資金の使いみちと算出基礎	必要時期	必要額 【単位:千円】	償還期間	備考
	月 日		年	
	月 日		年	
	月 日		年	

③ (農業経営基盤強化資金について)経営安定のための資金の使いみちと資金調達

資金の使いみちと必要額の算出根拠	必要時期	必要額	償還期間	備考
		【単位:千円】		
○負債の整理(※1)	年 月		年	
○資本構成の是正(※2)	年 月		年	
○その他	年 月		年	

※1 金利が高いとか、償還期間が短いといった理由により、現に経営の安定に支障をきたしている既往負債がある場合に、その負債を整理の対象にするものです。

2 本来は長期資金で対応すべきものを短期資金で対応したために悪化した流動比率を、長期資金への借換えによって是正するものです。

(参考)既往借入金の状況(農業経営以外の借入金も記載してください。)

( 年 月 日現在)

借入先または資金名	主な資金の使いみち	借入年月	現在残高 【単位:円】	利率	償還期限	据置期限	償還方法 (いずれかを○で囲んでください)
1		年 月		%	年 月	年 月	元金均等、元利均等、その他
2		年 月		%	年 月	年 月	元金均等、元利均等、その他
3		年 月		%	年 月	年 月	元金均等、元利均等、その他
合 計							

④ 経営改善のための計画の算出基礎(該当する営農類型について記入してください。)

(耕種)

作目	実績		目標	
	単収	単価	単収	単価

(酪農)

区分	単位	実績	目標	区分	単位	実績	目標
経産牛1頭当たり乳量	kg / 頭			濃厚飼料総給与量	t / kg		
乳価	円 / kg			濃厚飼料平均価格	円 / kg		
乳飼比	%			粗飼料総給与量	t / 年		
分娩間隔	日						

## (肉用牛)

品種(該当品種に○)		和牛、F1		乳用種、和牛、F1		
区分		単位	実績	目標	実績	目標
素牛	導入頭数	頭 / 年				
	導入月齢	か月				
	導入価格	千円 / 頭				
販売牛	販売月齢	か月				
	販売体重	kg / 頭				
	販売価格	千円 / 頭				
枝肉ランク		%	A4以上	A4以上	B2以上	B2以上
濃厚飼料総給与量		t / 年				
濃厚飼料平均価格		円 / kg				
粗飼料総給与量		t / 年				
分娩間隔		日				

## (養豚)

区分		単位	実績		目標	
種豚の品種			♂	♀	♂	♀
母豚1頭当り年間産子数		頭 / 年				
出荷頭数		頭 / 年				
母豚平均分娩回数		回 / 年				
販売子豚	出荷日令	日				
	出荷体重	kg				
肥育豚	出荷日令	日				
	出荷体重	kg				
上物率		%				
肥育豚販売手数料		円 / 頭				
肥料総給与量		t				
飼料要求率						

## (採卵鶏)

区分		単位	実績		目標	
鶏種			♂	♀	♂	♀
導入ヒナ	日令	日				
	価格	円 / 羽				
年間導入羽数		千羽				
育成率		%				
淘汰方法						
産卵期間		か月				
飼料総給与量		t				
飼料要求率						
G. P. 経費		円 / kg				

## (ブロイラー)

区分	単位	実績	目標	区分	単位	実績	目標
鶏種				育成率	%		
ヒナ購入価格	円 / 羽			出荷日令	日		
鶏舎延坪数	坪			出荷体重	kg / 羽		
坪当たり常時飼養羽数	羽 / 坪			飼料総給与量	t		
餌付回数	回 / 年			飼料要求率			
餌付羽数	千羽 / 年						

## (3) 計画が実行された場合に収益はどうなるか、融資返済は可能か

		1年目	2年目	3年目	4年目	目標(5年目)	
売上							
	経営規模	生産量					
		売上高					
		経営規模					
	生産量	生産量					
		売上高					
		経営規模					
	生産量	生産量					
		売上高					
		経営規模					
	生産量	生産量					
		売上高					
		経営規模					
	その他( )						
	売上原価						
	期首商製品棚卸高						
当期商品仕入高							
当期製品製造原価							
	材料費	材料費					
		労務費					
		賃借料					
		その他経費					
(減価償却)							
期末商製品棚卸高							
売上総利益							
販売費・一般管理費							
	役員報酬	役員報酬					
		その他人件費					
		出荷販売経費					
		減価償却費					
営業利益							
営業外利益							
営業外費用							
支払利息							
経常利益							
税引前当期利益							
法人税等充当額							
税引後当期利益							
償還財源							
償還金(元本)							
差引余剰							
施設・機械等の設備投資							
農業負債(短期)							
農業負債(長期)							
農外負債							
計							